



第6回巨大津波災害に関する合同研究集会に参加しました(2016/12/8~9)

場所：関西大学梅田キャンパス

参加者：今村教授，アナワット准教授，ナット助教，山下助教，林助手，牧野嶋（D1），大竹（B4），馬場（B4），
福井（B4）

12月8日～9日に、「巨大津波災害に関する合同研究集会」が関西大学梅田キャンパスで開催されました。この研究集会は津波に関する研究に焦点を絞りつつ、工学だけでなく理学まで広い分野の講演および意見交換を行うもので、毎年12月に行われています。本年度は、発表者として今村教授，アナワット准教授，ナット助教，山下助教，林助手，牧野嶋（D1），大竹（B4），馬場（B4），福井（B4）が参加しました。来年は災害科学国際研究所（仙台）にて開催されます。発表者の講演内容は以下の通りです。※下線は発表者

今村文彦：2016年福島県沖地震津波の現地調査および数値解析

A.Suppasri：Tsunami Hazard Assessment for the Arabian Gulf from Earthquakes and Surface Landslides

N.Leelawat：Tsunami Evacuation Drill: An Experimental Study on the Use of Mobile Application Prototype

山下啓：津波氾濫・土砂移動・漂流物移動の統合シミュレーションー複合的なハザード拡大のシナリオー

林晃大：東日本大震災における建物被害実績と海岸林分布状況の関係性に関する検討

牧野嶋文泰，今村文彦，安部祥：マルチシナリオ津波避難シミュレーションに基づく都市避難安全性の評価手法

大竹拓郎，サッパシー・アナワット，今村文彦：過去400年間データに基づくグローバル津波ハザード評価

馬場亮太，佐藤翔輔，今村文彦：住まいの再建のための復興情報に対する受け手の評価に関する調査ー宮城県の被災者を対象としてー

福井謙太郎，山下啓，サッパシー・アナワット，今村文彦：東日本大震災による養殖筏，アマモ場の被害関数の構築



講演の様子（今村，馬場，福井）